

外傷後眼球陥凹患者に対する手術の後方視に関する研究

1. 研究の対象

2013年1月から2020年2月までの間に外傷後の眼球陥凹に関して形成外科的な手術を受けた方

2. 研究目的・方法

外傷後に眼球陥凹をきたした患者さんの治療は非常に難しく、様々な手術方法が開発されていますが、必ずしも良い術後成績を残せておりません。本研究ではこれまでに琉球大学病院で行った手術の効果を後方視的に観察することにより、当院の手術方法が有用であったかを検証します。

本研究は介入を伴わない観察研究で、特に新しい侵襲が加わるわけではありません。研究実施期間は人を対象とする医学系研究倫理審査委員会承認日～2022年3月31日までを予定しています。なお、本研究では、琉球大学 人を対象とする医学系研究倫理審査委員会の承認を得て実施しています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

収集するデータは基本情報（生年月日、性別、合併症、過去の手術歴等）、疾患情報（診断名、手術内容等）、術前術後写真、CT画像データ等です。試料は用いません。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、上記情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：沖縄県中頭郡西原町字上原 207 番地 琉球大学病院 形成外科

電話番号：098-895-1768

担当者：琉球大学大学院 医学研究科 形成外科 清水雄介

研究責任者：同上